

4 指導計画と評価計画（総時数 14 時間）

時 次	目標	主な学習活動	評価規準 (評価方法)	評価観点			
				関	読	書	言
1	第一次	すがたをかえる食べ物について知る。	・献立表から気付いたことを話し合おう。 ・見た目は違うのに、同じ食材があることを知る。 ・教室にある食べ物の本について知る。	食べ物のひみつに关心をもっている。 (発言・行動)	○		
2		「せつめいの仕方を考えよう」を設定して、学習計画を立てることができる。	・「すがたをかえる大豆」を読む。 ・「分かりやすい説明の仕方を考えよう」を設定し、ゴールについて見通しをもつ。 ・食べ物のひみつブックを作ろう。	文章の内容に关心をもち、文章を読もうとしている。 (発言・ノート)	○		
3	第二次	文章全体の組み立てを考えることができる。	・段落分けをする。 ・「イルカのねむり方」「ありの行列」の文章構成について、ふり返る。 ・「はじめ」「中」「終わり」に分ける。	「はじめ」「中」「終わり」に分けている。 (発言・ノート)	○		
4		文章全体の組み立てを考え、それぞれの部分のおおまかな内容と役割をとらえることができる。	・「はじめ」と「終わり」の部分に書かれていることを読みとる。 ・中心文について確認する。 ・「はじめ」の中心文を探す。 ・どんな「問い合わせ」を入れるか考える。	「はじめ」「終わり」に書かれているおおまかな内容と役割をとらえることができる。 (発言・ノート)	○		
5		「中」の段落の内容を読み取り、筆者の説明の工夫を見つけることができる。	・③～⑦段落を読み、中心文を見つける。 ・どの中心文にも同じところはないかを考える。 ・「いる」「にる」「ひく」などの意味をおさえる。	段落中の中心文をとらえ、筆者の説明の工夫を見つけている。 (発言・ノート)	○	○	
6		段落ごとに書かれている事柄を比べながら読み、筆者の説明の工夫に気づくことができる。	・自分で考えた、分かりやすく伝えるための並び方を発表する。 ・筆者は読み手のためにどんな順番で説明文を書いたのかを考える。	接続語や文章の内容から段落のつながりについて、理由を見つけている。 (発言・ノート)	○		
7		文末表現に着目し、文章の特徴から筆者の説明の仕方の工夫を見つけることができる。	・「～でした。」「～ました。」で終わる文ではなく、「～でした。」「～ました。」を使っている理由を考える。	文末表現から、筆者の説明の仕方の工夫を見つけることができる。 (発言・ノート)	○		
8		食べ物についての本を進んで読もうとしている。	・食べ物について書かれた本を読んで、分かったことやおもしろかったことをノートにまとめる。	食べ物について書かれた本を読み、分かったことやおもしろかったことをノートに書いている。 (発言・観察・ノート)	○		
9		食べ物のひみつについて分かったことなどを筆者の工夫を入れて説明することができる。	・まとめたことを班で発表する。 ・「すがたをかえる大豆」で学んだ筆者の工夫を入れて説明する。	まとめたことを友だちに分かりやすく説明している。 (発言・観察・ノート)	○		
10	第三次	選んだ課題について意欲的に調べたり、書いたりすることができます。	・食べ物のひみつブックを作る計画を立てる。 ・何について調べるのか考える。	選んだ課題について意欲的に調べたり、書いたりしている。 (ノート・観察)	○		
11		調べたい食べ物についての情報を収集することができる。	・分かりやすい説明の仕方について確認する。 ・インタビューしたことをまとめること。 ・図書室の本で調べたことをまとめること。	書く目的によって、必要になる事項と観点を理解し、取材している。 (観察・ノート)		○	
12		情報を整理し、文章に表すことができる。	・話題提示で「はじめ」を書く。 ・「中」について、例を入れながら書く。 ・写真や絵を文章に合わせて貼る。	「中」の部分で、内容のまとまりごとに段落を分け、文章を構成している。 (観察・ノート)		○	
13		情報を整理し、文章に表すことができる。	・「終わり」の文章全体の内容をまとめるようにして書く。 ・文章全体を読み返し、接続語の使い方にについて見直す。	「終わり」で分かったことをまとめて、分かりやすく書いている。 (観察・ノート)		○	
14		食べ物のひみつブックを読んで、分かりやすく書かれているところを見つけることができる。	・友だちのひみつブックを読み合う。 ・分かりやすい説明の仕方をメモし、友だちのひみつブックにはる。	自分の書き方と人の書き方を比べ、上手に説明しているところに気づいている。 (発言・ノート)		○	